99 この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり４本

試読・購読はこちらから

2022年3月27日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

桜島・火山のホームドクター

3月27日（日）＝1、3面

南大平洋のトンガ沖で海底火山が大規模爆発を起こしてから約２カ月が過ぎました。よく知られているように日本も火山国であり、活火山は１１１座になります。活火山の地元で暮らし、状況の変化を観測したり、住民たちの防災に携わったりする研究者は「火山のホームドクター」と呼ばれています。

鹿児島・桜島の「ホームドクター」は、京都大防災研究所・火山活動研究センターの井口正人センター長＝**写真**＝です。20代から桜島観測の最前線に立ってから約40年が過ぎました。その日々を「火山と対話してきた」とも言います。地道な研究に取り組んできた日々や、長年抱き続けている火山学者としての信念に迫ります。

特集ワイド

国歌に寄せるウクライナ人の心情

3月29日（火）＝夕刊特集ワイド

＜ウクライナの栄光も自由も未だ死なず＞。ロシアの侵攻を受け、ウクライナを応援しようと世界各国で歌われている曲、ウクライナ国歌の冒頭部分です。１８６０年代に作られたとはいえ、歌詞を読むと戦火にさらされている今のウクライナ国民の心情を代弁しているように思えてきます。

ウクライナの伝統弦楽器「バンドゥーラ」のプロ奏者、カテリーナ・グジーさん（36）＝**写真**＝や専門家を取材し、国歌のルーツなどを探りました。

そこが聞きたい「子どもの自殺予防」

3月29日（火）＝オピニオン面

学校のクラス替えや進学、就職など、子どもの生活が大きく変わる年度末を迎えています。国の自殺対策基本法は毎年３月を「自殺対策強化月間」と定めるなど対策を強化していますが、子どもの自殺は高止まり傾向が続きます。

自殺を防ぐために大人はどうすればいいのでしょうか。子どもが出すＳＯＳをどう受け止めたらいいのでしょうか。自殺予防対策に取り組む識者に聞きました。

論点

賃金はなぜ上がらないのか

3月31日（木）＝オピニオン面

日本の賃金は、バブル崩壊後、ほとんど増えていません。経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）のデータによると、日本は加盟35カ国中22位です。この30年で米国は約１・５倍となるなど多くの国で賃金は上昇しています。しかし、日本はほぼ横ばいで、お隣の韓国にも抜かれました。

なぜ、このような状況になったのでしょうか。識者に聞きました。

竹橋の窓辺から

編集後記

「旅する〇〇」シリーズの食べ物にはまっています。旅行できない分、味覚だけでも……と、つい財布のひもが緩んでしまうのですが、日曜朝刊の「わたしのふるさと便」は、47都道府県の支局長がグルメや穴場を紹介中。ひねりの利いた通好みのローカルガイドを見る度に「コロナ後に行きたい！」と旅行欲が高まります。特産品のプレゼントも付いているのでオススメです！

（川口真由）

毎日新聞 150 2022年2月21日 毎日新聞創刊150年

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。